

住宅政策による

定住化促進を



柳田 隆男議員

合併処理浄化槽の 普及促進を

柳田議員 住宅に対するアンケート結果によると、改善したい点として、トイレの水洗化の要望が多い。環境問題からももう少し普及促進を図るべきではないか。

積極的に進める

北村町長 ここ数年一〇〇基程度の要望があり、対応している。生活排水をきれいにするためにも、積極的に推進したい。

町民生涯課長 今年度は、二回ほど町広報紙に普及促進のための記事を掲載している。補助金についても、近隣町とバラツキがあるようなので、足並みを揃えるように検討を進めたい。

空家の有効活用を

柳田議員 町内には、かなりの空家がある。グリーンツーリズム等に有効活用できないか。

町長 空家利用は、所有者の理解を得ながら、入居者をつなぐしくみづくり、体験交流施設等のモデル的な活用策を庁内プロジェクトチームを立ち上げ、研究を進めたい。

今後の住宅政策は

柳田議員 住宅政策で、温泉付き宅地分譲終了後の計画は。

町長 現在、温泉付きを含む五一区画の宅地分譲に取り組んでいるが、今後としては、東谷公営住宅団地の建て替えに伴う

周辺開発として、宅地分譲や道路整備を予定している。

町有林材を

定住促進に 活かさないか

柳田議員 樹齢五〇年を経過した町有林が十二区あるが、町が開発した分譲地に家を建てる人に、地元業者を利用するといった条件を付して、木材を提供できないか。

将来のこととして

検討を

町長 伐期を五五年、ヒノキ五五年と定めているが、木材価格の下落から択伐を計画している。択伐により活用できる材は、数量的に限度がある。町有林の生育状況をみながら、将来取り組めないものか、検討していきたい。



佐志・陸吉地区に計画されている一部温泉付住宅団地